



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ
Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーウ

Weekly Bulletin

30th anniversary

藤枝南ロータリークラブ 会報



例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

例会 第 1382 回：早朝例会 第 1383 回：通常例会/小杉苑

ソング 君が代、奉仕の理想 : ソングリーダー 漆畑雄一郎君

原点回帰

■ 会長挨拶

松浦正秋君



前回の例会は、志田ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会でした。例会終了後に開催した懇談会についてご報告いたします。皆様に通知した

第 5 グループからのグループ再編希望に関する件を伺いました。結論から申し上げますと再編は行わないとのことでした。第 5 グループに第 4 グループ内の遠州 4 クラブが入ると山梨全体と同じほどの規模になります。第 4 グループと第 5 グループの間だけの話に留まらず、地区全体のグループの編成を改めて考える必要があるとのことでした。このような事情であるので、今年度は手を付けないとおっしゃっていました。

会員増強については、コロナ禍の影響で会費を払えなくなった会員が増えていて、クラブの存続そのものを考えなければならないクラブが出てきているようです。山梨県下の塩山、山梨中央の 2 クラブが本年 6 月に解散いたしました。例会での食事の提供を止めて会費を減額したクラブがあり、例会の開催数を減らすクラブもあるそうです。当クラブの会員増強について現状の人数を維持し、退会者が出た時に新しい人を迎えるというスタンスですと伝えました。県東部に入会希望者が多数いて順番を待っているクラブがあるという情報も頂きました。51 名の会員数を維持し、例会を開催出来ていることをうれしく思いました。ガバナーの就任の輪番の話ができました。今年は本来東部からの選出の年でありましたが、人選がまとまらず静岡クラブが引き受けたとのことでした。

た。再来年の本来の中部からの選出年に静岡クラブの浅原さんがガバナーを受けるので、次回の中部選出の際には藤枝や焼津からお願いしたいという話がありました。楽しく例会が開催出来る多くの会員が出席いただいているこのクラブに在籍できていることをうれしく感じた今週です。

■ 理事会報告

鈴木健夫君

- ① 「11 月・12 月プログラムについて」承認されました。
- ② 「静岡第 4・5 グループ再編について」話し合いました。グループ制に変更してまだ間もないので、もうしばらく様子をたらどうか、という意見がほとんどでした。10 月 24 日の会長幹事会の議題にもなっています。追ってご報告します。

■ 幹事報告

鈴木健夫君

- ・10 月度理事会が開催され「11・12 月プログラムについて」承認されました
- ・11 月 21～22 日に予定されてた地区大会が延期になりました
- ・ガバナー公式訪問のお礼メッセージがガバナーより届きました

■ 出席報告

笠原大輔君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
43/51 84.31%	43/51 84.31%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 阿井君 ○伊藤彰君○桑原君○杉山君○樽井君
○村松章隆君○渡邊博君 川口君

(2)メークアップ者

桑原茂君（藤枝） 中村君

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	45	0	12

パーフェクト例会数 😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX 笠原大輔君

- ・何回目かの結婚記念日 有難うございます。
小池吉久君
- ・誕生日プレゼントありがとうございます。
玉木末雄君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます
望月誠君
- ・妻のバースデーありがとうございます。
もう62才のはずです。昔の面影すらありません。
内山淑夫君
- ・結婚記念日プレゼントありがとうございます
毎年欠かさず結婚記念日は2人で食事にいきます。今年の分の予約を早くしなければ
笠原大輔君
- ・誕生日プレゼントありがとうございます。
52才になります。朝起きた時の顔がとてもひどいです。加齢を実感するこのごろです。
杉浦聡君
- ・家内の誕生日プレゼントありがとうございます。
いったい彼女はいくつになったんだろう？
江崎直利君

スマイル累計額 265,000円

■ 会員卓話 早川清人君



RLIプログラムのご案内

2018-19 年度 R I 地区大会第 1 日目において、「地区指導者育成セミナー」が企画され、会長、幹事とともにクラブ研修リーダーの参加が要請され、

この「地区指導者育成セミナー」では、RLIの説明とその実施に向けた案内が、RI第2770地区の井原實パストガバナーより述べられました。これ

は、昨年2月15日の例会でも報告させて頂いたことですが、現在、日本の各地区単位で活発に活動が展開されているところであり、改めてクラブ研修リーダーとして案内させて頂きます。

RLI (Rotary-Leadership-Institute) とは、ロータリー・リーダーシップ研究会のことであり、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムのことです。

このRLIは組織化されていて、活動拠点となる本部は米国のニュージャージー州に置かれていて、委員長にデビット・ライネット (David-Linet) 氏が就いております。デビット・ライネット氏は、元RI理事で本プログラムの発案者でもあります。

また、日本国内においてもRLI日本事務局 (RI第2770地区ガバナー事務所内) が設置されており、元RI理事の北清治氏 (浦和東RC) が日本支部委員長を務めています。

但し、RLIはRIの正式なプログラムではありません。そして、RIの管理下にもおかれていませんが、RIが承認している多地区合同のプログラムとなっています。

ロータリーにおける最大の草の根活動であり、現在、世界の80%ほどの地区が参加しているとのことです。いつ時点の統計かは不明ですが、日本では23地区の参加と3地区の参加表明があったとのことで、地区事業としてRLIセミナーが各地で開催されています。

RLIの使命は、将来、クラブのリーダーシップを進めることが出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することを目指すものとなっています。

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動するためには、ロータリアン一人一人がロータリーを深く理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。つまり、RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することなのです。

このRLIプログラムは、ディスカッション方式で実施される参加型の研修カリキュラムで構成され、段階的にテーマを設定して討論が展開されます。その際の進行は、参加者の発言を促し話の流れをまとめる誘導役たるファシリテーターを

中心に行われます。

そのセミナーは、「リーダーシップ」「奉仕」「会員組織の強化」という3つの基本軸を中心に3段階でのカリキュラムが組まれています。パート1は「ロータリアンとしての私」、パート2は「私たちのクラブ」、パート3は「私のロータリアンの旅」を基本的テーマとして設け、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指すこととなります。

具体的内容及び手法等は、まだまだ分からない点が多い訳ですが、今後、資料の収集に努め、内容を確認のうえ、今後の当クラブの活動にも反映させていきたいと考えています。

そこで本日は、短い時間ではありますが、RLIカリキュラムを模したディスカッションを企画させて頂きました。テーマはパート1になぞらえて「私にとってのロータリークラブ(ロータリークラブは私にとってどのような存在か)」として、時間は15分とします。各テーブル毎に発表者を決めてからディスカッションをお願いします。ディスカッションした内容は週報で発表して頂きます。発表者の皆さん、週報への寄稿をお願いします。

また、この卓話の最後に、RLIプログラムのカリキュラムパート1を受講した経験のある松浦会長に感想を発表してもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

～テーブル発表～

- ・仲良しクラブだけちょっと違う、ちょっとこわい(笑)
- ・自分の人間力を高めてくれる場所・自分の評価、立ち位置を確認する場所
- ・不易流行のエッセンスをいただき、自社に持ち帰り社業発展に活かしたい

発表者 杉浦聡君

*ロータリーは平等で自身のトレーニングの場である。

*自己の修行の場であり丁度良い会である。

*歯車であるので各社がそれぞれを紹介し合い、自社の繁栄と地域の皆様への貢献が出来るクラブ。

*RLI(ロータリーリーダーシップ研修会)を理解するとともに楽しい会である。

*まだ経験が浅い為わからないことが多いですが毎週楽しみですので兎に角出席したくなる会だと思ふ。

発表者 佐野博己君

藤枝市内の経済人との交流を図り、リーダーの考え方、行動を学び、広い人脈を構築できる団体が私にとってのロータリーです。

発表者 鈴木寿幸君

- ・新しい発展、新しい出会いの場
- ・信用と信頼の物差しである
- ・ロータリーへは、日常の中で出席している
- ・会社人生そのものがロータリー人生といえる
- ・異業種交流の最たるもの

発表者 竹田敏和君

「交流の場です。ロータリーには某団体と違って卒業がないので、新会員も一度会長をされた方も年齢関係なく平等に接してくれるところが他にない交流の場として大切な団体になります。

某団体は卒業間近になると威張り散らす人がたまにいます(笑)」

発表者 笠原大輔君

毎週金曜日を確認する日

海軍カレーと同じ意味です

もう少しカレーランチを増やしてほしい

発表者 高杉光洋君

私にとってのロータリークラブとは

例会受付で、表に○を記入する事で金曜日に友人に会える

私のロータリー感

例会受付で、表に○を記入する事で参加意識を感じる

発表者 森竹正晃君

ロータリーの例会は昼食をはさみ、行われます。食事というのは、人間にとって、幸せな時間で、当然、会話もはずみます。私たちのテーブルには、業界別では多岐にわたりますが、やはり、ロータリー経験が長い人も多いため、たいへん高度な話が多く、世相を反映している話題や政治談義も少なくありません。特に、先週金曜日は、トランプ大統領が新型コロナの陽性反応が出たとの驚くべきニュース速報が飛び込みましたので、花が咲きました。また、法務関係の専門家も数人いることから、法令関係のことも多く、交わられます。経営者は健康が第一ですし、従業員の健康保持も経営者のつとめで、健康経営が推奨されていることから、健康の話題も事欠きません。

ともあれ、高度な会話がいろいろテーブルとっております。

発表者 植田裕明君

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/9(金) 第 1384 回	会員卓話	小杉苑
10/16(金) 第 1385 回	職場訪問	藤枝農産加工所
10/23(金) 第 1386 回	会員卓話	小杉苑
11/6(金) 第 1387 回	会員卓話	理事会

■ 今週の一言

古川賢吾君



思い出の旅

今から24年前、大学3年の夏休みに友人と2人で8月中旬～9月中旬(約1ヶ月)「地球の歩き方」を手

にスペイン、ポルトガルを旅しました。スペインへ直行便がないため、成田からヒースロー空港(イギリス)で乗り継ぎバルセロナ入りしました。旅のスタイルはバックパッカー、宿はその日に探して交渉してなるべく安いところに泊まりました。今で言うと民泊でしょうか。衣類は洗面所で洗濯して乾かす、風呂はほとんどない、シャワーも水だけのところもありました。スペインでは、「バルセロナ」→「マドリード」→「グラナダ」→「セビーリャ」と4つの街を移動し滞在、国境を越えポルトガルに入り「リスボン」→「コインブラ」→「リスボン」と2つの街を滞在し、帰りはポルテラ空港(リスボン)成田直通便で日本に戻ってきました。様々な思い出がありますが、バルセロナでサッカーの試合を見たくて、キャンプノウでデスクカウントしようと試みましたが、窓口の人に銀行行けと言われ、結局買ったチケットは、最上段で、ロナウドやフィーゴ、ストイチコフ選手が米粒のようで誰かわからなかったです。隣のドイツ人と意気投合し応援しました。最後に、帰りの機内でワインを2本、3本飲んで泥酔、きれいなCAさんに介護されるおちがついた旅でした。

おめでとうございます!

